

村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場に係る健康対策の概要

健康相談等窓口

- ・仙南保健福祉事務所に専用電話を設置し、平成14年1月31日から健康相談等窓口を開設。
- ・相談件数：6件（来庁1件，電話5件：健康相談5件，悪臭苦情4件）

健康相談会

- ・沼辺地区公民館において予約制により，医師及び保健師等による問診，希望に応じて内科健診を実施。
- ・回数及び相談者：合計48回（うち35回は申し込みなし），30名（実質23名）
- ・主な相談内容：目が「チカチカ」するなどの目症状及び喉の「イライラ感」，咳などの咽喉頭・呼吸器に関するものがほとんど。

健康調査等

1 TH I（東大式健康調査票）調査

健康状況の客観的分析を行い，地域特性を把握するため実施。

- （1）調査時期：平成13年11月
- （2）調査対象：寄井地区147世帯
- （3）分析結果：

- ・対照地区（他県の農村地域）と比較し，「多愁訴」，「呼吸器」，「目と皮膚」，「生活不規則性」の4項目について大きな差がみられた。
- ・日中，仕事のため住居を離れている30～40才代の男性には異常がないが，50才代以上の男性及び全ての年齢層の女性には「多愁訴」，「呼吸器」，「目と皮膚」の3項目について差が見られた。
- ・結論として，科学的には，分析結果に見られる特徴は，硫化水素が原因だと考えても矛盾しない。

2 小中学生に対する健康状態アンケート調査

村田町教育委員会及び処分場周辺学校のPTAからの要請を受け，小中学生に対する健康調査を実施。

- （1）調査時期：第1回目：平成14年6月4日から21日（学校検診の場を活用。また，過去1年間（平成13年4月から平成14年3月）及び既往歴についても併せて調査）
第2回目：平成14年7月21日から31日（夏休み前半）
第3回目：平成14年11月18日から24日（初冬）
第4回目：平成15年6月20日から26日（梅雨時期）
- （2）調査対象：村田第二小学校及び村田第二中学校の児童，生徒及び対照群として処分場から離れた村田第一小学校及び村田第一中学校の児童，生徒
- （3）分析結果：平成13年には，村田第二小学校においてのみ増加していた症状もあり，処分場からの気体発生による健康への影響があった蓋然性が高いが，平成14年度及び平成15年度の調査時点では，村田第二小学校及び村田第二中学校と対照校との間に差があるとは言えず，健康への影響はなかったものと思われる。

3 乳幼児のいる家庭に対する戸別訪問

乳幼児の保護者の抱えている健康不安の状況を把握するため，処分場周辺5地区に住んでいる乳幼児家庭を対象に戸別訪問を行い，保護者から乳幼児の健康状態を聴取。

- （1）調査時期：平成14年8月7日
- （2）調査対象：5地区121世帯（166名）
- （3）実施結果：目，呼吸器，皮膚などの異常があるとの訴えが3割ほどあったが，症状の発現時期にはばらつきがあり，悪臭との因果関係が認められるほど明確な傾向はなかった。